

令和4年度神奈川県生活習慣病対策委員会がん・循環器病対策部会
各分科会 開催状況等について

1 各分科会の開催状況について

(1) 循環器疾患等分科会

令和4年度は開催見送り

(2) 胃がん分科会

令和5年2月14日(火) WEB会議形式で開催

(3) 子宮がん分科会

令和5年3月3日(金) WEB会議形式で開催

(4) 乳がん分科会

令和5年2月24日(金) WEB会議形式で開催

(5) 肺がん分科会

令和5年2月15日(水) WEB会議形式で開催

(6) 大腸がん分科会

令和5年2月10日(金) WEB会議形式で開催

2 がん分科会の主な議題

(1) 令和元年度市町村がん検診の実施状況について

(2) コロナ禍におけるがん検診に係る取組みについて

3 各がん分科会の開催概要

(1) 胃がん分科会

開催日：令和5年2月14日(火)

開催形式：ZOOMを使用したWEB会議形式

委員出席数：6名

【委員からの主な意見】

○ 検診は最後の駆け込みが多く、1月、2月の検査が多い。令和元年度だとちょうどコロナが始まったところで、横須賀のデータはここに入っていないが、大腸がんなども軒並み受診率が落ちている。その影響は何か評価されているか。

⇒ (県) コロナの影響はこの統計からは読み取れない。全国的には令和2年度がかなり落ち込んだとされており影響は出ていると思うが、この統計の中でコロナの影響を分析することは難しい。

○ 国が指針で使用しているのは50歳から69歳までだが、実際にはがん発見率や陽性的中率は75歳以上というような状況の中で、高齢者の胃のレントゲ

ンの検診だと、80歳を超えると相当リスクが高い。高齢者の検診をどうするかは、長い課題として考えていかなければならないと思う。

- 各市町村の医師会にも声をかけていただいて、市町村の実務者担当者だけではなく、医師会と共同で施設側に働きかけ、施設側からも受診率を上げるような努力をしていただくことも必要だと思う。

(2) 子宮がん分科会

開催日：令和5年3月3日（金）

開催形式：ZOOMを使用したWEB会議形式

委員出席数：7名

【委員からの主な意見】

- 5ページの検診実績の概要について、集団検診と個別検診でいつもこんなに乖離があったらどうか。これだと個別検診の精度が非常に悪すぎる。「がんの疑い・未確定」がこんなに多いというのは、何か指導をしているのか。
⇒（県）内容の精査まではできていないが、昨年度お示ししたデータとの比較では、精検受診率は、集団検診では増加傾向、個別検診では減少傾向にある。また、がん発見率は集団検診では増加傾向、個別検診では減少傾向、陽性反応適中度は集団検診では増加傾向、個別検診では減少傾向にある。
- 受診者が集団検診から個別検診にシフトしていっている中で、この結果は非常に困る値であると思う。集団検診は、請け負っている事業者、例えば予防医学協会などが責任を持って、医師会などと追跡調査を行っているからこれだけの結果になっていると思うが、個別検診の精度がかなりまずいと思う。

(3) 乳がん分科会

開催日：令和5年2月24日（金）

開催形式：ZOOMを使用したWEB会議形式

委員出席数：6名

【委員からの主な意見】

- 資料1の1ページについて、第1指標、第2指標は母数が違うため、値が変わってくるが、いずれも神奈川県の実診率は全国平均の実診率と比較するとかなり低いことがわかる。これは、神奈川県の特徴なのか、都市部の特徴なのか、あるいは、県として十分に検診が機能していないのかといったことが考えられる。
⇒（県）都道府県別の順位を第1指標、第2指標でそれぞれ算出しており、神奈川県の実診率は第1指標は41位、第2指標は47位とかなり下の順位である。
関東地方の順位を例に出すと、第1指標では、茨城県40位、栃木県

4位、群馬県18位、埼玉県38位、千葉県10位、東京都25位と、神奈川県は低い順位である。

同様に、第2指標も茨城県27位、栃木県7位、群馬県12位、埼玉県36位、千葉県9位、東京都26位と神奈川県は低い順位といえる。

- 県だけでは解決しない、国全体の問題かもしれないが、がん登録が整ってきたというところで、デジタル化しないと紐付けもできない。できれば、神奈川県が先頭に立ってデジタル化をしていただければありがたい。

(4) 肺がん分科会

開催日：令和5年2月15日（水）

開催形式：ZOOMを使用したWEB会議形式

委員出席数：6名

【委員からの主な意見】

- 例年精検受診率が低く、未把握率が高い。県から各市町村に向けて、どのような指導を行っているのか。
⇒（県）今年度は昨年度分科会の結果を各市町村のがん検診担当者研修会で報告した。
- 精検受診の把握に関する情報が医師会に降りてこない。そのため医師会の先生方も気にしていないのではないか。ぜひ県からプッシュをお願いしたい。未把握率が定率であることについて、精度管理した方がよい。正確に報告するように何度も言わないといけない。
⇒（県）分科会の先生方と共同で通知を出す等も考えたいと思う。その場合は相談に乗ってほしい。

(5) 大腸がん分科会

開催日：令和5年2月10日（金）

開催形式：ZOOMを使用したWEB会議形式

委員出席数：4名

【委員からの主な意見】

- 来年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響が出てくるとされる。

以上